

2019年度 事業報告書
(2019年4月1日～2020年3月31日)

公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

I. 事業の概況

美術、音楽、舞台芸術などの芸術文化分野における個人、団体の優れた芸術文化活動を促進する活動へ助成を実施した。

また、芸術文化資産を活かしながら芸術文化創造の支援をするため、アサヒビール大崎山荘美術館の運営等の文化事業を行った。

1. 芸術文化活動助成部門

1) 事業の総括

選考委員の斬新な評価により、地域性も加味し、助成件数を絞り込み、助成先への貢献を高める助成を行った。また、授与式を開催し、助成対象者同士並びに選考委員との交流、意見交換の場とするとともに、選考委員の方々、財団事務局員による現地での活動視察を実施し、助成フォローの充実に注力した。

2) 事業の概要

当財団の事業活動の主要分野である美術、音楽、舞台芸術分野への活動助成は、合計45件22,000千円を計画したが、公演内容変更(1件)により、45件21,900千円となった。

内訳は以下の表の通り。

<2019年度助成内訳>

件名		助 成	
		件 数	金額(千円)
芸術文化活動助成	美 術	15	7,300
	音 楽	14	7,300
	舞台芸術	16	7,300
合 計		45	21,900

また、伝統工芸の技術の保存と活用、伝統文化向上に寄与する目的で開催されている日本伝統工芸展へ500千円の助成を行った。

3) 財団業務サポートシステムの導入

選考プロセスにおける利便性の向上、効率的な運営を目的として助成業務サポートシステムの導入を行った。

- ・ 初期費用（システム導入に関わる支払金額） 1,600千円
- ・ システム運用に関わる年間支払金額 426千円

2. 美術館運営部門

「事業の趣旨」

当財団は、1996年からアサヒビール社より「アサヒビール大山崎山荘美術館」の運営を委託されており、これに伴い美術館運営事業を行っている。

所蔵品・建物・自然環境という大山崎山荘美術館ならではの資源を活かし、関西はもとより広く芸術文化の拠点として情報発信に努めている。

「事業の総括」

1) 企画展内容

時期	企画展の名称
春) 3/21~6/9	没後40年バーナード・リーチ展 ー山本為三郎コレクションより
夏) 6/22~9/1	ジョアン・ミロの彫刻 ー夏の大山崎山荘美術館コレクション
秋) 9/14~12/1	東山魁夷のスケッチ ー欧州の古き町にて
冬) 12/14~3/8(2020) 会期中途(2/21)にて中止	清宮質文 ー限りなく深い澄んだ空気

◆バーナード・リーチ展：山本為三郎コレクションのリーチ作品全点を初めて一堂に公開した。当館所蔵品の質の高さを示すと共に民藝運動を紹介する良い機会となる。また出品作全点を掲載する図録を製作することにより今後の研究につながる基礎を作ることができた。

◆ジョアン・ミロの彫刻展：20世紀を代表する画家として知られるミロの彫刻、当館で所蔵している14点を初めて一挙に公開した。所蔵品を深く掘り下げて紹介するという美術館活動の根本に立った企画であった。
また、長らく休止していた教育普及活動を復活、ブロンズ彫刻製作の過程を紹介する現物資料の展示など意欲的な企画展であった。
所蔵品の調査も大きく進み今後の活動に重要な情報を得ることができた。

◆東山魁夷のスケッチ展：2016年の20周年モネ展につぐ来館者数もさることながら、来館者の企画展満足度、美術館全体満足度共にきわめて高かった。

建築物としての大山崎山荘との調和を主眼に企画したものであり、日常と切り離された場所で、庭園や建物の雰囲気も含めて作品鑑賞を重視する現代人の欲求に応えるものとなった。

- ◆清宮質文展：関西ではじめて、その画業の全貌（版画、そしてガラス絵）を紹介する。芸術・美術をこよなく愛する人々に新たな出会い・新たな発見をもたらす企画展。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期中にて中止。

2) 企画展総括

- ・前半2つの企画展（リーチ展・ミロ展）は、当美術館の所蔵品を中心としたものであり、所蔵品の調査・研究を大きく進めること、その成果を発表することが出来た。
- ・東山魁夷展は、紅葉鮮やかな秋の大山崎山荘を舞台に東山魁夷の欧州の古き町なみのスケッチ作品を鑑賞いただく企画展であり、来館者の極めて高い満足度を頂戴した。
- ・清宮質文展は、関西で初めて、その画業の全貌を紹介するという意欲的な企画展であった。NHK日曜美術館アートシーンで紹介され、SNSで大きく盛り上がり、来館者も日を追うごとに多くなってきた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2月21日で打ち切りとした。
- ・2019年度の4つの企画展は、それぞれ明確な意図・ストーリーを持って企画され大きな成果を上げたと考えている。
- ・また、地元小学校を対象にした出前授業、美術館での招待授業など、地域との連携による芸術教育普及活動も積極的に実施した。
- ・年間来館者数は75,876人であった。東山魁夷展までは計画比97%、前年比104%で推移していたが、清宮質文展の会期中での中止により年間では計画比93%、前年比103%に終わった。

3) 建物の充実

計画通り本館外壁改修工事、本館照明LED化工事を2019年春に行った。本館外壁改修工事は木腐れ防止、雨漏り防止を目的とするもの。本館照明LED化工事は省電力化を目的とするもの。白熱電球からLEDにすることにより電力70～80%削減予定。

3. 2019年度 主な事業活動

2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)

年	月	日	項目	摘要
2019	3	21	大山崎山荘美術館企画展	「没後40年 バーナード・リーチ展」 (～6月9日)
	4	18	2019年度助成授与式	
	6	3	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度事業報告、計算書類等承認の件 ・理事候補者の承認の件 ・評議員候補者の承認の件 ・定時評議員会招集の件
	6	21	定時評議員会	・2018年度事業報告の報告、計算書類

				等承認の件 ・理事選任の件 ・評議員選任の件
	6	21	第2回理事会	・業務執行理事選定の件
	6	22	大山崎山荘美術館企画展	「ジョアン・ミロの彫刻」 (～9月1日)
	9	14	大山崎山荘美術館企画展	「東山魁夷のスケッチ」 (～12月1日)
	11	1	助成公募開始	募集期間：～12月2日
	12	14	大山崎山荘美術館企画展	「清宮質文」 (～20年2月21日)
2020	2	5	選考委員会	音楽部門案件の選考
	2	18	選考委員会	美術部門案件の選考
	2	20	選考委員会	舞台芸術部門案件の選考
	3	16	第3回理事会	・2020年度事業計画書及び収支予算書 等承認の件 ・2020年度助成・選考委員会答申書承認の件 ・選考委員選定の件

II. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

理事の異動

2019年6月21日 選任 大西 隆宏 辞任 栗津 晶

同日付で、業務執行理事に大西隆宏が選定された。

評議員の異動

2019年6月21日 選任 勝木 敦志 辞任 加賀美 昇

選考委員の異動

2019年12月27日 辞任 大西 若人

2020年4月1日 重任 薩摩 雅登 退任 建畠 哲

重任 伊東 正伸 退任 沼野 雄司

重任 奥田 佳道

重任 望月 京

重任 岸田 真

重任 森元 隆樹

重任 唐津 絵理

選任 光田 由里

選任 安田 和信

2019年度末の現職役員、評議員及び選考委員は次の通り

役職名	氏名	就任年月日	担当職務	主な職業
代表理事	泉谷 直木	18-06-20	本法人代表	アサヒグループホールディングス 会長
業務執行 理事	大西 隆宏	19-06-21	業務全般	財団常勤

理事	竹内 順一	18-06-20		東京藝術大学名誉教授
同	尾崎 正明	18-06-20		茨城県近代美術館館長
同	岡部 真一郎	18-06-20		明治学院大学教授
同	吉井 澄雄	18-06-20		日本照明家協会名誉会長
同	木下 直之	18-06-20		東京大学大学院教授
監事	西村 勝秀	16-06-24		公認会計士西村勝秀事務所
同	松田 隆次	16-06-24		松田法律事務所
評議員	末松 謙一	16-06-24		三井住友銀行名誉顧問
同	村上 仁志	17-06-16		三井住友信託銀行名誉顧問
同	高嶋 達佳	16-06-24		電通相談役
同	前田 新造	16-06-24		資生堂相談役
同	根津 公一	16-06-24		根津美術館館長
同	大林 剛郎	16-06-24		大林組会長
同	勝木 敦志	19-06-21		アサヒグループホールディングス専務取締役
選考委員	建畠 哲	18-04-01	美術部門	多摩美術大学学長
同	薩摩 雅登	18-04-01	同	東京藝術大学教授
同	伊東 正伸	18-04-01	同	国際交流基金文化事業部長
同	奥田 佳道	18-04-01	音楽部門	音楽評論家
同	沼野 雄司	18-04-01	同	桐朋学園大学教授
同	望月 京	18-04-01	同	明治学院大学教授
同	岸田 真	18-04-01	舞台芸術部門	桜美林大学教授
同	森元 隆樹	18-04-01	同	三鷹市芸術文化センター 副主幹/演劇企画員
同	唐津 絵理	18-04-01	同	愛知県芸術劇場 シニアプロデューサー

2. 職員に関する事項

該当事項なし

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開会年月日	議事々項	会議の結果
19-06-03	第1回理事会 ・2018年度事業報告、計算書類等承認の件 ・理事候補者の承認の件 ・評議員候補者の承認の件 ・定時評議員会招集の件	原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認

19-06-21	第2回理事会 ・業務執行理事の選定の件	原案通り承認
20-03-16	第3回理事会 ・2020年度事業計画書及び収支予算書等承認の件 ・2020年度助成・選考委員会答申書承認の件 ・選考委員の選任の件	原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認

(2) 評議員会

開会年月日	議事々項	会議の結果
19-06-21	定時評議員会 ・2018年度事業報告の報告、計算書類等承認の件 ・理事選任の件 ・評議員選任の件	原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認

4. 許可、認可及び承認に関する事項

該当事項なし

5. 契約に関する事項

該当事項なし

6. 寄付に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額	受入年月日
財団運営資金	アサヒグループホールディングス株式会社	126,000,000円	50,000,000円	19-05-08
			53,000,000円	19-07-03
			23,000,000円	19-08-30
2019年度寄付金総額		126,000,000円	126,000,000円	

7. 行政庁指示に関する事項

該当事項なし

8. その他 重要事項

該当事項なし

附 属 明 細 書

2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。

2020年6月

公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

以上